

# 令和元年度 第1回 定期巡回ステーション あじさい

## 介護・医療連携推進会議議事録

開催日 令和元年9月24日(火)  
開催時刻 14時00分～14時30分  
開催場所 ケアタウン昭里 2階 会議室

出席者 地域包括支援センターゆのかわ 施設長  
地域住民代表 湯川2丁目町会 会長  
学識経験者  
医療ソーシャルワーカー 函館渡辺病院  
総合支援科 技師長  
利用者様ご家族  
事業所管理者  
連携先訪問看護ステーション管理者  
ケアタウン昭里施設長  
ケアタウン昭里事務員

計9名

### 【内容】

- 1 開会挨拶
  - ・当施設も開設から6年目に入った
  - ・先月末夏祭りが終了
  - ・本日は利用者さまのご家族が出席
  - ・前回同様に事業の現状報告
2. 参加者紹介
3. 議題
  - 1) 定期巡回ステーションあじさいの事業報告
    - ・令和元年8月の利用者数

利用者数	67名
平均介護度：要介護	3.73
看取り	1名
終了者	3名
新規利用者	0名

    - ・要介護1の方の入居が増えたため、前回より介護度が軽度になった。
    - ・介護度が高い方がお亡くなりになったのも要因。
    - ・平成31年自己評価・外部
      - 外部評価はケアプランセンター あまりりすに依頼。平成31年4月11日実施。
      - 評価表は別紙参照。

## 2) 連携先の訪問看護ステーションあまりりすの事業報告

### ・R1.8/31 現在

介護保険…既存訪問看護 20名(外部) サ高住あじさい 68名  
医療保険利用者…2名(外部) サ高住あじさい 2名

- ・胃瘻増設者が増えた。
- ・定期巡回ステーションとの連携…月1回フロアマネージャー、ケアマネ、デイの職員が参加し、多職種でカンファレンスを開催し、情報交換を行っている。
- ・病院との連携  
渡辺病院、ゆのかわメンタルCL, 泌尿器科など。
- ・地域との連携について  
喀痰吸引等について：加算は取れていないが、介護員の指導は引続き行っている。  
昭里も開設から6年目に入った。本年度はリビングウイルの取り直しを考えている。

## 3) 現在の問題点、課題について

- ・人員確保について
- ・地域への展開
- ・地域包括ケアシステムについて
- ・看取りについて

## 4. 意見交換

質問) どれくらい人員を確保したら、見通したつのか

回答) 入居者75名に対応できる人員を確保するのに、5年かかっている。離職防止に取り組んでいるが、1名辞めると補充するのにやっと。意見するとすぐ辞めるのではないかと思うと強く言えない。地域に出るとなるとあと4名は必要。地域に出ていくと地域包括ケアシステムがわかってくると思う。その為にも各職員への周知と理解を進めていく必要がある。

包括支援センター) 地域包括支援センターゆのかわの職員がシステムの説明に伺うことも可能。

- ・看取りについて

質問) 看取りに対する取組みをお聞きしたい

回答) 開設より看取りは13名ほどいた。看取りカンファを開くなどした結果、職員の意識が変わってきて、ご本人が安楽していけるように何が出来るか考えるようになった。

他には

- ・ご家族からの声を拾うのは大変。
- ・施設に意見しづらい。
- ・人質論→家族は預かってもらっている立場として意見しづらい。

ご家族を代表して何か意見はないか

ご家族様) 特にありません。

包括支援センター) ご家族さまは遠慮なく意見を発信して欲しい。ご家族さまの意見が施設をよくする。事業所管理者) 利用者さま目線でよりよい環境を作りたい。

5.今後の会議の開催予定について

【次回会議開催日の予定】

2019年3月

14:00 ～ 2F会議室

以上